

教育長日記 (平成28年5月31日)

# 青い空に浮かぶ白い雲103

—学校だよりに見る 校長が取り組む人づくり— 東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の言葉) 千日(せんにち)の稽古を鍛(たん)とし 万日の稽古を錬(れん)とす 宮本武蔵  
 (千日間、同じ事を続ける事を「鍛」といい、万日間、同じ事を繰り返す事を「錬」という。  
 物事に習熟するためには、それくらい長い間続けなければならない。/五輪書)

学校	5月学校だより ◆は題 ○は転入者
第一小 三坂明子 校長	◆学校と家庭といっしょに考えたいこと 「あいさつがちゃんとできる」というのは社会人のマナーとして必須…
第二小 澤崎彰一 校長	◆小さな成功体験を積み重ねること …自分が達成できそうな目標を設定…達成するために何をすべきか…
第三小 濱脇哲也副校長	◆体育から知育、そして徳育へ 東京都教育委員会より「体力向上推進優秀校」として表彰を受けました。
第四小 菅野仁一 校長	◆友達と学ぶ意味 学校で学ぶ意味は一人ではできないより高い課題に協力して挑戦すること
第五小 ○加藤 進校長	◆「凡事徹底」 つまり、当たり前のことを誰もができないくらい徹底してすることです
第六小 松井 茂 校長	◆自分も他の人も大切に 支持的な学級風土づくりを進めていきます。(個が生き、思いやりと…)
第七小 ○大桃昌博校長	◆子供の姿をしっかりと見つめて 「親の心得」 赤子には肌を離すな…子供には目を離すな…
第八小 伊藤誠治 校長	◆いじめや暴力を憎む心を育てます 改めていじめ防止の視点から教育活動を見直し、一年間の教育活動を…
第九小 大中 勲 校長	◆開校40周年～見て、聞いて、感じて、体験して、九小のよさの再発見 「九小だからできる、九小でしかできない40周年にしたい！」
第十小 吉行一敏 校長	◆『たった一つの尊い命』 意見交換会では…引き続き校長が授業を行わせていただきます。
第一中 ○石井和光校長	◆『気持ちは大切』 気持ちが変わることによって行動が変わり、行動が変わることによって人格や人生まで
第二中 松村正博 校長	◆毎日成長する子供たち 子供の成長は、笑顔の励ましにこたえていく過程でもあったと思います。
第三中 志田裕治 校長	◆五月に想う 「絆」が生まれるには、共に苦労し声を掛け合い、共に助け合うこと…
第四中 雨宮敏彦 校長	◆「さわやかな風の中、運動会練習始まる」 オリンピック精神においては友情、連帯、フェアプレー…相互理解…
第五中 山本 武 校長	◆『だれかのために』 「もう少し自分ができることはないか」と考えられるようになると…
サポートルーム 佐々木主任指導員	◆語らい …子供たちと当日勤務している先生とで語らいながら往復するひと時…

## 協働・一丸

一校一校の学校組織が強  
くたくましくなってきました。  
なぜそう感じるのか、その  
訳は、各校長が示す「学校  
経営方針」が明確になっている  
からだと考えます。つまり、  
今年度、子どもたちのため  
に何に取り組み、どの方向  
に進むのかが明確なのです。

さらに、小中一貫教育を進  
める中で、少なくともグルー  
プごとの協働そして一丸と  
なった取り組みが増えてき  
たこともあげられます。

経営に迷うことがあれば  
「学校は地域の財産」である  
という地点に立ち返り、学校  
経営を考えましょう。

東大和市立学校に勤務す  
る期間は短期間です。その限  
られた期間の中で経営力を  
発揮し、多様で質の高い教育  
への改革を進めていきまし  
ょう。

東大和市の教育改革の実  
践者は校長です。期待してい  
ます。



## 自立する生徒会

平成26年5月、東大和市の中学校5校による「連合生徒会」が、携帯電話やスマートフォンを使うときのマナーについて意見交換をしました。この取り組みは、NHKや新聞等で紹介されました。あれから2年、今年は、5月6日にテレビ東京が「中学生が取り組むいじめ防止」というテーマで、やはり東大和市の中学校全校の取り組みを紹介してくれました。運動、文化、東大和市の子どもたちの「道を拓くたくましさ」が随分目立つようになってきました。これは、校長のリーダーシップと教職員の日々の実践の積み重ねです。